

平成14年度 物質工学部会 第19回デザイン分科会 第9回研究発表会 議事録

日時 平成14年10月17日(木) 10:30開会
場所 ザ・ホテル紫玉苑 孔雀の間 〒400-0035 山梨県甲府市飯田1-2-4 TEL 055-224-4422
主催 物質工学部会 デザイン分科会
協賛 財団法人 工芸財団 日本工芸技術協会 財団法人 日本産業デザイン振興会
参加者数 計38名(参加者名簿は別添資料による)

1. 受付 10:00
2. 開会 総司会 デザイン開発部 部長 石川泰子 10:30
3. 挨拶

分科会長 広島県立東部工業技術センター 産業デザイン部長 平田 勉

第19回デザイン分科会第9回研究発表会に大勢ご参加いただき嬉しく思う。佐賀県で開催された春の分科会も「公設研究機関におけるデザインの在り方」というテーマで今までにない議論をさせていただき、産学官連携による研究の重要性を確認した。今回の分科会では3件の指導事例と7件の研究事例発表を予定しており、佐賀県での議論は意義があったことと思っている。現在、公設機関のデザイン担当では“デザインの役割”というものが問われてきているが、このような地道な研究や活動を通じて存在を広めていけば、きっとデザインの理解も高まり必要性も生まれてくるものと思う。今日は研究発表、指導発表が中心であるが皆さんにご清聴いただいて後に活発な議論ができればと思う。

開催機関長 山梨県工業技術センター 副所長 雨宮徳夫

本日は、ご多忙の中、全国から大勢の方に参加いただいて御礼申し上げます。最近デザインの重要性等についてテレビや新聞などで報じられるようになったが、この研究発表会は各県のデザインを担当される方の様々な事例を聞くことのできる良い機会である。後ほど馬場先生の講演も予定しているが、皆さんの積極的な意見交換の場としていただければ有り難いと思う。現在、地方自治体が設置している研究機関等について変革の時期にきており、統廃合、再編の動きが各所にみられている。特に独立法人化の問題が取り上げられており、国においては次回の国会において法案化が予定されているとも聞いている。それに伴い地方公設試を取り巻く環境も大きく様変わりするのは間違いのないことである。また、景気も回復の兆しが見えてきていない為、地域の中小企業を取り巻く状況はまだまだ厳しいのが現状である。このような中、現場で指導、研究業務を行う研究員の方々のご苦労も大変なことと思う。本日のこの研究発表を通じて相互に得た知識、知見を仕事に是非反映させていただきたいと思う。

4. 研究発表会(第1部) 10:50

座長: 埼玉県工業技術センター北部研究所 主任研究員 竹内 了

デザイン開発事例など

富山県総合デザインセンター 副主幹研究員 吉田 良広

「土の循環・器の再生」とデザイン(Green Life 21 Project)

岐阜県セラミックス技術研究所 主任専門研究員 長谷川 善一

「家具工房むっく」の挑戦～建具から住宅まで～

佐賀県工業技術センター 特別研究員 川口 比呂志

以上 指導事例 午前 3名(詳細は研究発表要旨集を参考)

5. 昼食休憩 11:50

座長：分科会長 広島県立東部工業技術センター 産業デザイン部長 平田 勉

【デザイン分科会指事連絡事項】

1. 提案要望事項について

デザイン分科会の議事テーマについて（北海道立工業試験場）

春の分科会で行った公設試の今後のあり方の議論を、今後も継続的に行ってほしい。

* 補足説明：北海道立工業試験場 安河内氏

公設試のデザイン担当の環境が慌ただしくなっている気がする。春の佐賀県での分科会で行った事例では参考になる部分があった。今後もこれを続けていく必要もあるかと思う。今日の挨拶にもあったように独立法人化の問題等も差し迫ってきている。デザイン分科会でもこのような問題に対処する為、デザインの基盤的なこと、何を行っていけば良いのか等、もう少し確立していった方が良いと思う。このような趣旨から提案させていただいた。

次期開催県からの連絡 青森県工試験場 石川氏

提案要望事項に関しては、来年の青森の分科会でも討議する時間を持ちたいと思う。それについては、事前にメーリングリストを使って打ち合わせなどを行い臨んだらどうかと考えている。青森県としての提案もあるが、分散研究会等は多すぎる研究会とそうでないものがある。多すぎると各県の事例発表だけで全て終わってしまい、何の為に研究会という名になっているのか？という問題もあるので、その辺をどうするか？事前にメーリングリストを用いて打ち合わせを行いたいと考えている。

来年度春の分科会開催に向けた調整 分科会長：広島県東部工業技術センター 平田氏

事前に意見を出し合う作業が必要かと思う。分科会当日にいろいろと良いアイデアなり意見が出るわけではない、議論が深まるわけでもない。是非早い時期から議論するネットワークをつくっていきたいと考えている。石川氏によるしく頼みたい。

春の分科会での現地研修について質問 静岡県工業技術センター 多々良氏

青森県での開催の際、現地研修等の予定はあるのか？

回答 青森県工試験場：石川氏

現地研修は予算的に厳しい。特に来年の青森県では冬季アジア大会を控えており、非常に緊縮財政となっている。今、予算請求しているところであるが、佐賀県に続き討議を中心にしたいと思っている。現地研修や行ってみたい所などはレジュメにして配りたいと思っているので意見をいただきたい。希望が多いようならツアー等考えてみるが、あくまでも個人的な形での参加になるかと思う。

2. 財団法人 工芸財団 日本工芸技術協会について

存続に関する経緯 分科会長：広島県東部工業技術センター 平田氏

今年7月に元製品科学研究所の松尾氏から連絡があり、日本工芸技術協会存続の件でいろいろと皆さんにご迷惑をかけて申し訳ない、春先では継続が難しいという話であったが、製品科学研究所のOBで現在東京家政大学の岩井一幸氏から事務局を世話するという話があった。協会は継続することになり、デザイン分科会に対しての助成金についても入金していただいた。よって、工芸技術協会の負担金1万円が従来通り請求されるかと思う。厳しい状況ではあると思うが請求がきたら支払いをお願いしたい。参加が難しい場合は退会するしかないと思う。

存続に関する連絡について質問 青森県工業試験場 石川氏

継続しないと思い、予算書には“ない”という前提で落としてしまった。もう少し早く連絡があればよかった。

回答 分科会長：広島県東部工業技術センター 平田氏

判明したときに事務局にメーリングリストで流すよう指示したが全員から“連絡が来た”という確認はしていなかった。従前通り工芸技術協会は進めていくのでよろしくお願ひしたい。

名簿について質問 宮崎県工業技術センター 鳥田氏

工芸協会が継続はありがたいと思うが、例年作成している名簿はどうなるのか？

回答 分会長：広島県東部工業技術センター 平田氏

今年度の制作は難しいと思う。次年度以降はこちらから作るようお願いしたいと思っている。今年に変更届けの確認もなかったかと思う。4月春先に運営を中止という連絡があったのでその作業が遅れており、今年度の出版は難しいと思う。来年度また名簿の作成にご協力いただきたいと思う。

3. デザイン分科会 実施状況と開催予定

来年度の開催県について 分会長：広島県東部工業技術センター 平田氏

予算要求時期に「次はどこか？」との問い合わせがあり、以前からのデータを加えて一覧表を作成してみた。来年度の青森県では日時は決定したのか？

開催日時について 青森県工業試験場 石川氏

現在予算請求中である為、予算次第によって変更になる可能性もある。今の時点でははっきりしたことは言えない。固まり次第、メーリングリストで流すようにしたい。

来年度の秋の開催県について 分会長：広島県東部工業技術センター 平田氏

1年後の21回秋の分科会は埼玉県をお願いする予定であったが、東京都の三好氏から“引き受けます”という話があった。来年度は東京都で「塗装分科会」も開催されるということで、塗装分科会と合同で行う方向で計画しているという話である。これもまだ日時は決定していないが分かり次第連絡したい。16年度の開催もそろそろお願いしたいと思っている。幹事さんを通じて地域の順番でお願いすることになるかと思うので、そのときはよろしくお願いしたい。

開催予定について提案 青森県工業試験場 石川氏

各ブロック毎に順番がわかると思うので予定として10年分作成してはどうか？一回り分あると事前の出張の予定も立てやすいと思う。

回答 分会長：広島県東部工業技術センター 平田氏

10年までではなく、とりあえず向こう3年くらいはお願いしたいと考えている。現在6ブロックあるので、6年先までお願いできればと思っている。

* この件に関しては次年度青森県での開催時に検討することとなった

【財団法人 日本産業デザイン振興会連絡事項】

1. 平成14年度グッドデザイン賞受賞の概要 (財)日本産業デザイン振興会 田中氏

応募数990点の中から6点が大賞にノミネートされた。今月の30日に投票で決定する。昨年より応募が落ちた。昨年は1300点応募があった。

2. 「全国デザインセンター会議」について

デザインに関心のある方々に集まっていたらこうという趣旨のもと、6回ほど開催してきている。今年は案内を47都道府県及び公設試にの方々を送っているの、できるだけ多くの方々にご参加いただきたいと思う。デザインに関する集まりで全国の皆さんを対象にしているものは3つある。一つは経済産業省の経済産業局が主催している「ブロック別デザイン会議」であり、そして、今参加している「デザイン分科会」、そしてもう一つ「全国デザインセンター会議」である。様々な会議に参加する機会が増えていけば旅費はかかると思うが、経常化すれば旅費の予算も増えるのではないかと期待している。また、インターネットやメール等で情報交換は行っているが、“顔を見て話す”機会が少なくなってきたので、何とか我々としてもこのような会議は続けたいと考えている。

【独立行政法人 産業技術総合研究所連絡事項】

1. 独立行政法人 産業技術総合研究所の紹介 産業技術総合研究所 佐藤氏

物質工学部会の事務局を担当している。連絡事項の一つは産総研の紹介ということでパンフレットを見ていただきたい。産総研の組織図について、完全に研究分野別の研究組織になっている。産学官連携部門の紹介とあるが、自分が所属しているのは地域連携室であり、ここが産議連全般の業務を担当している部署になっている。筑波の地域連携室の中では全部で9つあるうちの7つの部会の事務局を担当している。

もう一つの連絡事項は、産議連予算に関することである。基本的に各部会の総会の運営経費については産総研の予算で負担をしているが、次年度以降、これからの分科会の活動費についてはできる範囲で産総研の方で予算の負担をしていきたいと考えている。会場借料、資料の印刷代、講師謝金や旅費など、予算が十分確保できるかどうかは未定だが、次年度の青森県さんとも予算についてはご一報いただき、相談しながら進めていきたい。また、今後開催担当する県の方々もこちらの方と連絡を取りながら進めていただければと思う。

【その他連絡事項】

季刊誌「人間生活工学」の紹介 (社)人間生活工学研究センター 畠中氏

季刊誌「人間生活工学」の紹介、年四回発行。一冊700円。掲載内容に「論文」という項目があるので、是非皆様からの投稿をお願いしたい。

「デザインフェスタ広島2002」の紹介 広島市工業技術センター 寺戸氏

正式名称はデザインフェア広島2002である。開催する広島市の方では隔年でデザインイベントを行っている。資料をご覧いただきたい。コンセプトは“デザインネットワークが始まる”である。広島にはいろいろな領域のデザイナーがいるがヨコのつながりが希薄であるので、JIDA、JAGDA、建築家協会等、団体を中心に様々なデザイナーに集まっていたいて“デザインのネットワークをつくりはじめよう”ということで企画した。展示とシンポジウムに分かれている。

「木製品フェア2002」の紹介 事務局説明

今回欠席されている神奈川県産業技術総合研究所からの紹介。都合のつくかたはご参加いただきたいとのこと。

その他 事務局説明

東京都立産業技術研究所の三好氏から欠席の連絡がきているが、次回の秋の分科会(東京での開催)では大勢ご参加いただきたいとのことである。

7. 研究発表会(第2部)

13:10

座長: 静岡県静岡工業技術センター 主任研究員 多々良 哲也

デザインのための知的資本とナレッジマネジメント

大阪府産業デザインセンター 主任研究員 嵯峨 昇

商品化を目指したユニバーサルデザイン製品の開発研究

埼玉県工業技術センター 南部研究所 専門調査員 辻井 咲子

ユーザビリティテストによる高齢者特性の抽出について

奈良県工業技術センター 主任研究員 澤島 秀成

座長: 宮崎県工業技術センター 主任研究員 鳥田 和彦

買い物行動補助具の開発(機構解析シミュレーションを用いた開発事例)

長野県情報技術試験場 技師 北野 哲彦

生活モニタリングシステムの開発

山口県産業技術センター 専門研究員 中西 政美

座姿勢評価の高度化とその製品化の研究

三重県科学技術振興センター 主幹研究員 新木 隆史

日田スギの学校用机・いすの開発

大分県産業科学技術センター 日田産業工芸試験所 研究員 兵頭 敬一郎

以上 研究事例 午後 7名（詳細は研究発表要旨集を参考）

8. コーヒーブレイク 15:30

9. 特別講演 15:45

「公設試デザイン部門が中小企業に果たす役割」 株式会社クルー 代表取締役 馬場 了氏

株式会社クルーで実施している3つのデザインビジネスの実験及び実験結果の分析について解説。デザインの潜在需要は大きく、商品開発全体を支援できる企業や機関がない点から、公設試デザイン部門の役割を提案。1. 戦略的なシナリオライターの役割、2. 本社事業（行政）を理解した支店長の役割、3. 事業の総合プランナーの役割、4. 財務感覚（経営感覚）を持った経営者の役割、5. 人集めと組織化が得意なリクルーターの役割、6. 次の事業へ発展させるPRマンとしての役割、これら6つの役割について詳しく解説。最後に現在山梨県で取り組んでいる「新市場開拓型デザイン開発事業」について説明。

10. 閉会 デザイン開発部 部長 石川泰子

皆様のご協力により無事に終了することができて感謝。これをもって第19回デザイン分科会第9回研究発表会を閉会としたい。

11. 解散 17:00

*平成15年度開催県 春：青森県 秋：東京都